

令和8年(2026年)6月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2026年6月 数 量 (トン)	2026年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人参	千葉県・青森県・北海道産中心の入荷でした。 数量はかなり増加、平均単価は安く推移しました。	531	180	131%	84%
2		キャベツ	千葉県産・茨城県産中心の入荷でした。 数量は昨年並み、平均単価は高く推移しました。	802	89	102%	117%
3		トマト	神奈川県産・熊本県産・愛知県産・北海道等の入荷でした。 数量はやや増加、平均単価は高く推移しました。	294	396	105%	119%
4		レタス	群馬県産・長野県産中心の入荷でした。 数量は昨年並み、平均単価は高く推移しました。	288	191	100%	125%
5		たまねぎ	香川県産・佐賀県産・兵庫県産中心の入荷でした。 数量はかなり増加、平均単価はかなり安く推移しました。	678	111	131%	76%
6	果 実	もも	前年よりも生育が早かったため、入荷数量が増加した。 数量は大幅に増加、平均単価はやや安く推移しました。	70	906	172%	95%
7		メロン	梅雨に入り入荷量が減少した。 数量は減少、平均単価は昨年並みに推移しました。	175	468	80%	98%
8		桜桃	昨年に比べ生育が順調で、入荷量が大幅に増加した。 数量は大幅に増加、平均単価はかなり安く推移しました。	48	2,202	245%	69%

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(＋)0～2%
- ②やや増加(減少)：(＋)3～10%
- ③増加(減少)：(＋)11～20%
- ④かなり増加(減少)：(＋)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(＋)51%以上